



2023 年制定コンクリート標準示方書発刊に伴う講習会のご案内

公益社団法人 土木学会西部支部

開催日：2024 年 3 月 19 日（火）

参加申込締切日：2024 年 3 月 12 日（火）

土木学会コンクリート委員会では、学術研究や技術の進展を反映し、社会情勢や技術の運用形態の変化に適合すべく、概ね 5 年ごとにコンクリート標準示方書の改訂を進めてきています。2013 年以降は、一度に全編を刊行するのではなく、2 段階で刊行するようになりました。今回の改訂では、2023 年 3 月に〔基本原則編〕、〔設計編〕、〔維持管理編〕が発刊され、2023 年 9 月には〔施工編〕、〔ダムコンクリート編〕、〔規準編〕が 9 月に発刊されました。

このたび、後半の改訂のうち、〔施工編〕および〔規準編〕について、改訂の方針やポイントを解説するための講習会を下記の要領にて開催することと致しました。奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

1. 主 催：土木学会西部支部

後 援：福岡県、公益社団法人日本コンクリート工学会九州支部、

一般社団法人九州橋梁・構造工学研究会、一般社団法人日本建設業連合会九州支部、

一般社団法人建設コンサルタンツ協会九州支部

※本講習会は、公益財団法人 福岡県建設技術情報センターの講習会等助成事業（令和 5 年度第 2 期）の助成を受けています。

2. 日 時：2024 年 3 月 19 日（火）13:00～17:30（12:20 受付開始）

3. 会 場：リファレンス駅東ビル 2 階 会議室 Y-1
（福岡市博多区博多駅東 1 丁目 16-14）

4. 定 員：90 名（申込先着順）

5. 参 加 費：会員 3,000 円、非会員 6,000 円、学生 1,000 円（いずれも、テキスト無し）

※講習会会場および西部支部事務局でのテキスト販売は、行いません。講習会までにテキスト（印刷版または電子版）および改訂資料（コンクリートライブラリー164、印刷版）のご準備をお願いいたします。

※テキスト無しでの聴講も可能ですが、会場での印刷資料（PPT スライドなど）の配布は行いませんので、あらかじめご承知おきください。

6. プログラム （※プログラムは変更になる場合がございますが、御了承下さい。）

13:00～13:50	〔施工編〕改訂の概要、本編	綾野克紀（岡山大学）
13:50～14:50	〔施工編〕施工標準	坂井吾郎（鹿島建設）
14:50～15:05	（休 憩）	
15:05～15:40	〔施工編〕検査標準	梁 俊（大成建設）
15:40～16:10	〔施工編〕目的別コンクリート	佐川康貴（九州大学）
16:10～16:55	〔施工編〕プレキャストコンクリート	白根勇二（前田建設工業）
16:55～17:25	〔規準編〕改訂の概要	山口明伸（鹿児島大学）
17:25～17:30	閉会挨拶	

7. 申込方法：

参加希望者は、西部支部ホームページからお申し込みいただくと共に、3月13日（水）までに銀行振込または郵便振替にて参加費を払い込み下さい。お支払い後の返金は、原則、いたしません。

◆申込み用フォーム：西部支部ホームページ → イベント情報

<http://www.jsce.or.jp/branch/seibu/>

銀行振込：西日本シティ銀行 赤坂門支店 普通 1134463 公益社団法人土木学会西部支部

郵便振替：01710-5-30332 公益社団法人土木学会西部支部

※お申し込み後に届く「自動返信メール」を印刷して当日ご持参ください。

8. CPD プログラム：土木学会 CPD プログラム 4.2 単位（認定番号：JSCE24-0077）.

9. 問合せ先：

公益社団法人土木学会西部支部 〒810-0041 福岡市中央区大名 2-4-12 CTI 福岡ビル 2F

TEL：092-717-6031 FAX：092-717-6032

E-mail：jsce-w@io.ocn.ne.jp ホームページ：http://www.jsce.or.jp/branch/seibu/

※各編の改訂のポイント（土木学会刊行物 HP より）

[施工編]

検査の位置づけを見直し、施工者の行う検査は[施工標準]の品質管理に、発注者の行う検査は[検査標準]に記載しました。[施工標準]には、自己充填性を有する高流動コンクリートや土木用プレキャストコンクリート製品を加えました。また、レディーミクストコンクリートの呼び強度の強度値には計量抜取検査における合格判定基準値に基づき指定する必要があることを示しました。[目的別コンクリート]には、締固めを必要とする高流動コンクリート、混和材を大量に使用したコンクリート、再生骨材コンクリートおよび打込み時のコンクリート温度が 35℃を超える暑中コンクリートを新たに追加しました。

[規準編]

[設計編][施工編][維持管理編]との効果的な連携・補完や利用者の利便性などを鑑み、化学混和剤、フレッシュコンクリート、補修材料の評価試験に関する最新の知見を盛り込んだ規準を追加するとともに、コンクリート標準示方書と関係が深い JIS、日本コンクリート工学会、日本非破壊検査協会などの規格・規準の最新情報を取りまとめました。

[ダムコンクリート編]

今回、10年ぶりの改訂を行いました。大きな改訂点は、温度規制計画の見直し、ダムコンクリートの品質安定化、プレキャスト部材の活用、およびダム再生です。温度規制計画では、温度ひび割れ予測手法として有限要素法を用いた温度応力解析を標準としました。また、各種新技術の活用により製造時のフレッシュ状態を適切に管理して品質の安定化を図ることや品質管理試験の頻度を工事の進捗に伴い、適宜、見直すことについて記述しています。さらに、品質確保かつ生産性向上に寄与するプレキャスト部材の積極的適用と技術的配慮事項、既設ダム堤体のかさ上げや放流設備の増設などのダム再生における留意点、等について説明しています。